



# 白梅通信

1月号外 R 2.1.30 発行

宮城県古川黎明高等学校 〒 989-6175 宮城県大崎市古川諏訪一丁目 4 番 26 号  
TEL 0229-22-3148 FAX 0229-22-1024 <http://www.freimei-h.myswan.ne.jp>

## 令和元年度 学校評価分析

生徒・保護者の皆様には学校評価のアンケートにご協力頂き、ありがとうございました。集計結果を基に、各学年及び分掌で評価分析をいたしましたので、以下の通りお知らせいたします。これを基に学校評議員の皆様からご助言をいただき、次年度の改善に役立て、今後の教育活動に生かしていくように努力して参りますので、今後ともご理解・ご支援のほどよろしくお願い申し上げます。

### 1 回収率

- (1) 中学生 96.5% 保護者 69.1%
- (2) 高校生 1年生 90.7% 2年生 68.2% 3年生 63.9% 保護者 52.4%

### 2 評価結果及び分析について

※表の数字は、「よく当てはまる」と「だいたい当てはまる」と回答した割合 (%)  
 ※表の「中生」は中学生、「中保」は中学校保護者、「高保」は高校保護者

#### ○県立学校共通質問事項

##### 【学習指導（学ぶ意欲を引き出し、学力を身につけられるような授業が行われている）】

中生	88.8	高2	82.9	中保	88.9
高1	73.9	高3	69.5	高保	74.8

(分析) 中学生、高1・3生については例年とほぼ同様な値であったが、高2生に大きな増加傾向が見られた。新入試制度を見据えたきめ細やかな指導や意識付けが功を奏したものであろうと思われる。今後も各学年、各教科で子細に検討を行い、進路意識を高めながら学習意欲を引き出す授業の在り方を模索していきたい。

##### 【生徒指導（挨拶やマナーなどの基本的生活習慣の確立に関する指導が行われている）】

中生	92.1	高2	81.2	中保	86.6
高1	80.0	高3	70.3	高保	80.9

(分析) 概ね例年同様8割以上の評価であったが、高3生徒が70%になったのは以外であった。今後とも挨拶、服装などの基本的生活習慣の確立が進路実現、良好な人間関係の構築に繋がることを意識させられる指導を推進していきたい。

##### 【進路指導（進路目標の明確化に向けた適切な指導が行われている）】

中生	80.8	高2	83.0	中保	68.6
高1	78.2	高3	80.7	高保	79.7

(分析) 昨年度と比較して、多少の変動はあるものの、おおむね昨年同様の高い評価を得ている。来年度は大学入試共通テストが開始されることもあり、よりいっそう充実した進路指導を目指していきたい。

##### 【教育相談（教員やカウンセラーが必要な時に相談に応じてくれる体制ができている）】

中生	81.8	高2	76.0	中保	85.2
高1	75.4	高3	80.5	高保	80.0

(分析) 中高、生徒・保護者ともに8割前後が「よく・だいたいあてはまる」と評価している。ただ、生徒の評価は低下しつつある。カウンセリングに対して満たされないものがあるのか、教員への相談のしづらさなのか、生徒の求めるものをつかむためにアンケートの実施を考えたい。

##### 【部活動（学校として、部活動は活発に行われている）】

中生	92.4	高2	93.7	中保	91.7
高1	90.7	高3	92.3	高保	89.3

(分析) 新グラウンドが整備され3年目を迎えた。学習と部活動の両立を果たし、充実した学校生活を送っている生徒が9割存在するという評価と受けとれる。「部活動ガイドライン」に則り、自主的かつ効率的・効果的な活動が推進できるような体制づくりをしていきたい。

**【生徒会活動（学校として、生徒会活動は活発に行われている）】**

中生	84.8	高2	84.8	中保	91.3
高1	79.5	高3	73.1	高保	82.9

（分析）学校行事をはじめとする生徒主体となった生徒会活動も活発におこなわれている。次年度は、委員会活動の充実が計れるような意識付けに取り組んでいきたい。

**【学校行事（有意義な学校行事がある）】**

中生	93.1	高2	79.9	中保	96.3
高1	85.1	高3	87.5	高保	89.0

（分析）様々な学校行事に意欲的に取り組む中学生の評価の高さや、学校行事の中心的存在となる高3生の評価が高くなるのは例年通りの結果である。高2生の評価が80%を割り込んだのは気になることである。土曜塾や長期課外への高2生の評価が比較的高かったことを考えると、学校行事よりも勉学に比重を置く生徒が例年より多かったのかもしれない。いずれにしても、勉学だけではなく、様々な

学校行事を通して人間的な成長を促していきたい。

**【特色ある学校づくり（地域や伝統などに根ざした特色ある学校づくりに取り組んでいる）】**

中生	67.4	高2	59.5	中保	82.5
高1	62.4	高3	58.7	高保	72.0

（分析）中高とも保護者の評価が昨年度と比べて向上している。SSH事業を活用し、生徒にとってこれからの時代を生きていく必要な力を身に付けるために行っている本校の活動に御理解をいただいていることが要因であると考えられる。今後、全国すべての学校が取り組む探究活動の先駆けとして、理数系だけでなく全生徒が探究活動を行うことは意義がある。今年度から始まった第2期SSH事業を

推進し、探究活動における地域の中心としての特徴をさらに打ち出していく必要がある。

**【防災教育（災害・非常時の避難方法や連絡方法は伝えられている）】**

中生	87.8	高2	82.4	中保	80.2
高1	78.6	高3	78.0	高保	77.9

（分析）おおむね8割を超えているので周知されていると判断する。年度初めの防災カード・防災連絡版での注意喚起の効果と考える。年2回の避難訓練に視聴覚の利用を考えていたが、通信の影響でできなかった。次年度へ内容を練って取り組んでいきたい。緊急地震速報を利用して、災害に関して事前の準備をする心構えを持たせるよう工夫していきたい。全校生徒の安否確認等に黎メールを利用でき

るようにするため、年度初めの登録の際に名前を一緒に登録してもらい、双方向の活用にしていく予定である。

**【開かれた学校づくり（学校便りなどによって、学校の情報は適切に伝えられている）】**

中生	93.0	高2	82.3	中保	90.8
高1	84.6	高3	84.0	高保	73.1

（分析）高校保護者の評価ポイントが昨年より減少した。高校生徒のポイントとの乖離もこれまでに引き続いて目立っている。様々な通信が発行されているので、これらが保護者の手元に確実に届くための工夫が求められる。HP上で在校生・保護者のみが閲覧できるページを作成し、HP上ですべて閲覧可能な体制がとれるよう検討していきたい。

**【施設整備（校舎やグラウンドなどの施設や設備は整備されている）】**

中生	95.1	高2	83.0	中保	91.8
高1	87.3	高3	88.2	高保	92.1

（分析）概ね高評価であるのは校舎及び新グラウンド地内の見た目の真新しさによるものと思われるが、老朽化が著しい旧校地内の施設設備についても今後、リニューアルするための整備を進めていくこととしたい。また、中学校エリアのエアコン設置工事についても関係部署と調整を図りながら、早期完成を目指して整備していきたい。

**【いじめ対策（学校として、いじめ問題に対して取り組んでいる）】**

中生	74.6	高2	64.1	中保	72.3
高1	73.5	高3	68.3	高保	59.1

（分析）今年度も様々ないじめ防止対策を実施した結果、重大事案に至る案件は見られなかった。しかし、表面化していない問題（SNSでの誹謗中傷等）については、実態が把握できかねるので、保護者の監督のもとでの適切な端末機器の利用について広報していく必要性を感じる。

## 総合満足度（学校生活は充実している）

中学生	88.7	高2	79.9	中保	94.5
高1	81.7	高3	84.6	高保	85.7

（分析）中学校は生徒・保護者ともに「よく当てはまる」が半数に近い評価となり、高くなっている。それに対して高校は、「よく当てはまる」は、25%程度で4人に1人が満足している。「だいたい当てはまる」も加味すれば、中学校、高校ともに80%を超える高い数値となった。このグラフからは読み取ることが出来ないが、過去3年間の数値を比較すると、「よく当てはまる」と「だいたい当てはまる」

は学校全体で80%を超えているものの、「よく当てはまる」だけの数値は、H29 34%、H30 31%、R1 28%と下降している。他の質問項目も年度経過毎に、同様に下降しているのが気がかりであり、今後検証していくことが必要だと思われる。

## ○本校独自質問事項

### 【2WT（ツウィークテストは基礎学力向上に役立っている）】

中学生	61.9	高2	62.9
高1	58.2	高3	47.2

（分析）（中）昨年度と比較すると、評価はほぼ同じといえるものの、よくわからないという回答が増えた部分が改善点といえる。実施時期や内容等、今年度の反省を生かして、学力向上につながるよう改善に努めたい。

（高）昨年度と比較すると各学年とも評価はかなり低いものとなっている。生徒の話からは「黎明はテストが多すぎる・・・」といった声がよく聞かれるのも事実である。多分に“やらされている感”が強くなっているようであるが、何のためのテストであるかをもう一度生徒に理解させるよう、

内容・方法等の検討を各教科で進めていく必要がある。

### 【土曜塾（土曜塾は学力向上に役立っている）】

高1	33.4	高3	25.5
高2	50.0	高保	50.6

（分析）昨年度と比較してみると、高1 34.4 → 33.4 高2 44.0 → 50.0 高3 53.1 → 25.5 と学年によって変動が見られる。土曜塾のあり方については、毎年検討を重ね、改善を図ってはいるが、決め手に欠け、それがこの数字につながっていると考えられる。生徒・教員双方の意識を踏まえ、抜本的な検討を進めているところである。

### 【課外（長期休業中の課外や平日課外は進路達成に役立っている）】

高1	34.4	高3	53.1
高2	44.0		

（分析）高1 高2 高3 と徐々に評価が高まっているのは、生徒の進路意識の高まりを考えると当然あるべき姿ではある。しかし学年によっては昨年度より数値が落ちているケースも見られることから、教師側が設定する課外講習のコンセプトと生徒側が求める講習内容に乖離があるように思われる。前項『土曜塾のありかた』も参考に分析してみると、生徒たちはより実践的な演習を求めているように思える。学年進行に合わせた課外のあり方を、学校全体で検討してゆくつもりである。

### 【SSH（SSHは科学の興味・関心の向上に役立っている）】

中学生	53.5	高2	25.1	中保	61.3
高1	33.8	高3	39.3	高保	40.8

（分析）1年ぶりにSSHに指定され、第2期SSH事業を段階的に進行させているためか、生徒・保護者に十分その内容を伝えきれていないことが、よくわからないと回答した割合が2～3割あることから窺える。また、その意義について十分伝えきれていないと思われるのでSSHの諸事業の目的をさらに明確にしていく必要がある。また、生徒には、科学を単に理系のものにとらえるのではなく、文系

・理系等にかかわらず根拠をもって論理的に考えるといった科学的な思考力の重要性、必要性を理解させながら進めていきたい。

### 【進路室関係（進路資料室、自習室は利用しやすい）】

高1	23.8	高3	73.8
高2	42.8		

（分析）高1 高2 の満足度の低さは、おそらく自習室の利用がしにくい所から来ていると思うが、スペースの関係で高3生が中心となるのはやむを得ないところでもある。ただし、閲覧室（資料室）の利用については、高3生優先ということではないので、もっと下級生も利用しやすい雰囲気を作り、利用を促すなどしてゆきたい。

### 【進路情報（進路を考える上で必要な情報が十分に提供されている）】

高1	64.0	高3	72.4
高2	83.0	高保	58.9

（分析）進路情報の提供については昨年度高1 80.4、高2 83.4、高3 90.0と比較すると、今年度高1 64.0、高2 83.4、高3 72.4と大きな動きが見られた。進路部内で検証しているところだが、昨年度並みかそれ以上の情報提供に努めてきただけにさらなる原因の究明が必要と思われる。保護者への情報の発信についてもガイダンスの持ち方や発行物の伝達の方法について検討が必要と感じている。

**【図書館（学校図書館の蔵書は充実している）】**（分析）中学生は 86 % と例年並みの高評価である。高校の評価が下がったのは「分からない」と答える高校生が 12.6 % から 22.8 % に、中学生は 5.6 % から 6.9 % に増えたことと関係すると思われる。利用自体が少なく判断材料を持たないためだけでなく、蔵書・設備とも充実した大崎市図書館を利用する生徒の目からは見劣りがすることも考えられる。課題研究等、生徒のニーズは多岐にわたるが、教育活動を支えるのに必要十分な予算措置に基づいたさらなる蔵書の充実が必要不可欠ある。

中学生	86.1	高 2	65.5
高 1	62.2	高 3	67.6

**【図書館（学校図書館は、利用しやすいように整備されている）】**

中学生	95.4	高 2	79.8
高 1	74.0	高 3	77.2

（分析）中学生は昨年に引き続き 95 % を超えるなど、非常に高い評価を得ている。教室の前という立地条件や朝読書・ビブリオバトルなど日々の教育活動が図書館利用と連動していることがうかがえる。高校生の評価が例年よりも低くなった分は「わからない」と答える生徒の増加に転じている。図書館の利用機会がほとんどない生徒をいかに図書館に呼び込むかは、授業での活用が鍵となる。随時特集コーナーを設けたり書籍の紹介を行うなど、図書委員の働きかけも積極的に行っているが、朝読書のさらなる推進

をはじめ学校全体での読書活動推進を図りたい。

**【心身の健康への配慮（学校は心身の健康に十分に配慮してくれている）】**

中学生	82.5	高 2	67.3	中保	78.8
高 1	63.1	高 3	68.7	高保	68.5

（分析）各種の検診体制に変化はなく、保健室には心のケア支援員を配置している。しかし、昨年度と比べて高校の生徒・保護者ともに評価が下がっており、「心身への健康配慮」で何を求めているのかを把握し、求められている要望に添った対応をする必要がある。

**【事務室の対応（事務室は学校窓口として適切に対応している）】**

中学生	63.4	高 2	67.3	中保	80.7
高 1	58.9	高 3	64.1	高保	80.1

（分析）生徒からの評価は可もなく不可もなくという結果であった。生徒の事務室利用は証明書発行や鍵の貸し出し程度であり、対応に関して「分からない」とする割合が多いのは致し方ないとする。なお、保護者からの評価が概ね良好であることは励みであり、今後も懇切丁寧な対応を心掛けていきたい。

**【交通安全指導（交通安全指導等の安全指導が十分に行われている）】**

中保	73.7	高保	55.9
----	------	----	------

（分析）地域住民からの連絡の多くが、自転車通学生に対する「ながら走行」「並列走行」「逆走」である。これらは「危険運転」見なされ、刑事罰の対象となることを認識させる指導が必要であろう。家庭の協力もより一層不可欠になってくる。

**【授業参観や面談（授業参観や面談等は参加しやすい日程で組まれている）】**

中保	87.1	高保	78.3
----	------	----	------

（分析）（中）昨年度に引き続き、高評価をいただいた。今後も学校評価でいただいた意見等を参考に、一層の検討を加えたい。

（高）昨年度より若干評価は下がったが、決して低い評価ではないと思われる。授業参観では、授業公開週間や各種研究授業等も含めての HP や黎メール等での案内、面談では、午前授業・午後面談の日程の設定及び各担任の柔軟な対応によるものとする。

次年度もさらに参加しやすい形というものを検討していきたい。

**【PTA活動（保護者と教職員の連携が密で、有意義なPTA活動が実施されている）】**

中保	70.0	高保	49.4
----	------	----	------

（分析）（中）昨年度から評価が下がった要因の 1 つとして、生徒の参加を伴わない P T A 活動に対する参加者数が下がったところが考えられる。しかし、今年度も生徒が参加する P T A 親子行事等への保護者の参加率は高く、その点では、有意義な P T A 活動が行われたといえる。今後も保護者と教職員の連携を密にして、有意義な活動になるよう努めたい。

（高）健全育成・進路対策・調査広報等の委員会活動は活発に行われており、選出された役員の活動は活発に行われている。一般会員の参加できる進路講演会の開催について単年度企画のため周知が遅れ参加希望を確認するタイミングが遅かった。文化祭等の参加について役員の方の協力で成り立っている。役員以外の保護者が参加できる研修旅行等の企画をし、活発な活動を工夫していきたい。

※令和元年度の学校評価に関しては、グラフ化したものを学校ホームページに掲載してあります。どうぞご覧くださいようご案内申し上げます。